

日産車体株式会社

2020年5月25日

医療用ガウンの生産を開始し、日産自動車とともに医療現場へ提供

日産車体株式会社(本社:神奈川県平塚市堤町、社長:木村 昌平)は、日産自動車と連携し、新型コロナウイルス感染拡大による神奈川県からの要請のもと、医療用ガウンの生産を開始しました。今後、日産車体では2,500着の医療用ガウンを生産し、日産自動車とともに、地元自治体を通じ医療現場に提供していきます。

本医療用ガウンの開発は、日産自動車の生産技術開発部署を中心として、産業医のアドバイスや神奈川県庁からの要望を取り入れながら行われました。ガウンを脱ぐ際に、汚染されたガウンの表面に頭や顔が触れないこと、かつ袖が覆われていること等のポイントに加え、着用して作業する際のもたつきを防止するために、薄手の材料を選定し、袖部分を細くしたデザインとしています。素材には、当社物流で使用している梱包シートを活用し、また、作業効率を上げるために専用のトリム治具を作成しました。

生産は、当社生産現場の従業員が衛生面に配慮しながら手作業で行い、日頃の改善活動の知恵や工夫により、生産の効率化を図っています。

私たちは、引き続き、自動車の開発および生産で培ったノウハウや、保有する設備を活用し、日産自動車と連携をしながら、新型コロナウイルス対応への支援を進めて参ります。

詳細は、下記の日産自動車サイトをご覧ください。



・日産自動車掲載サイト:

<https://www3.nissan.co.jp/siteinfo/action.html>

以上